

二〇一九年 山防地区大会上演

作品名 『みちゆき』

近松門左衛門『曾根崎心中』より

作者名 渚太陽

連絡先 宇部鴻城高等学校

作品介绍

普段は言葉を発することが苦手なミチは、舞台では台詞を完璧に発することが出来る。そんなミチが、『曾根崎心中』を演劇部で上演することとなり…

男 4人 女 5人

キャスト

ミチ (徳兵衛)

ユキノ (お初)

ユメト (九平次)

サチ (お春・コロス)

キョウカ (女郎屋の女中・コロス)

アスカ (女郎屋の女中・コロス)

シンジ (瓦版屋・役人・コロス)

テルヨ (部長・お米・コロス)

先生

#プロローグ

演劇部の部室

スマホを見ながら談笑している部員たち

少し離れて本を読んでいるミチ

ミチは、紙袋をかぶっている

(これは、ミチが心をあまり開いていないことを暗示するため)

ユメト なあ、見ろよ（スマホを見せる）

キョウカ 何ですか？

アスカ 何ですか？

ユメト 自殺だつて

キョウカ 多くないですか？いじめ問題。

アスカ たしかに

シンジ いじめを苦にねえ…

ユメト 別に多くはないだろ。

アスカ でも、なんか最近多いような…ねえ？

キョウカ よく、スマホのニュースに来るよね。

ユメト 報道が増えたのは、確かだけど

シンジ でも、死ぬことはないですよ。

ユメト まあなあ…

キョウカ うんうん。

アスカ うんうん。

シンジ ミチせんばーい。どう思いますか？

ミチ えーと…（声になっていない）

キョウカ 先輩つてホント無口ですよ。

アスカ 台詞はバッチリなのに、何でなんですか？

ユメト さあ…俺が入部した時からあんな感じだったか
らな。

いじめグループとのLINE

ミチにサス 紙袋を脱ぐ

コロスの台詞はLINEでプロジェクター表示

ミチだけ台詞を発する

コロス1 w w w

ミチ お金、返してよ

コロス1 うっせーな

ミチ 返してくれるって約束だろ。

コロス1 何言ってるの？お前から金借りた覚えない

コロス4 借りてたっけ？

コロス2 借りてない

コロス3 借りてない

ミチ そんな…

コロス1 w w w

ミチ 友達じゃないか！約束、破るのかよ！

コロス1 はあ？約束？知らねーよ

コロス2 友達だつて

コロス3 友達だつて

コロス4 誰もお前のこと友達なんて思っていないよ、バーカ

コロス1 バーカ

コロス2 バーカ

クロス1 お前の顔なんか見たくねーんだよ。なあ、みんな

クロス4 w w w

クロス2 ウザイ！

クロス3 ウザイ！

クロス1 ←

クロス2 キモイ

クロス3 キモイ

ミチ あの金は、お母さんから預かった大切なお金なん

だよ……だから、返してくれよ。

クロス1 うわ、引くわー、お母さんだって

クロス2 マジうける

クロス3 マジうける

クロス4 草生える

クロス1 どうも、ピーッらしいわ

クロス2 ピーッらしい

クロス3 そうみたい

クロス4 そうみたいみたい

ミチ だから、返してよ

クロス1 借りてないものは返せません！

クロス2 返せません！

クロス3 返せません！

クロス4 夢でもみてな

サスの中、うずくまりながら紙袋を被る

シンジ、キョウカがミチに近づく

アスカ せんばーい、何読んでるんですか？

キョウカ 読んでるんですか？

ミチ えーと、その……（声になっていない）

キョウカ 近松？

アスカ 道行き？

キョウカ なになに……（本をのぞきながら）

アスカ・キョウカ この世のなごり、夜もなごり、死に行
く身をたとふれば、あだしが原の道の霜、一足づつ
に消えてゆく、夢の夢こそあはれなれ……

キョウカ 何だか難しそうですね？

アスカ うん。先輩、道行き文って何ですか？

ミチ そ、それは（声になっていない）

ユメト だあーっ！しまった！

アスカ どうしたんですか？

ユメト 部長から、1、2年は発声前にランニングしとけ
って、

キョウカ 言われてたの忘れてた！

キョウカ えーっ、じゃあ早く行かないと。

シンジ えー、面倒くさいなあ。

ユメト あとで、どやされても知らないぞ。

アスカ 本当本当。

シンジ もう、分かりましたよ。じゃあミチ先輩も早く来て

てくださいよ！

(ミチが読んでいた本を手に取る) いやー、今度授業で使おうと思つてなあ……

ユキノ登場

ユメト、シンジ、アスカ、キョウカ、あわてて去る

ミチ、呆気にとられるが、本をしまつてランニングに行こうとする

先生登場

ミチ慌てて本を置く

先生 おお、ミチいたのか。あれ、みんなは？

ミチ えーと……あのー(声になつてない)

先生 ああ、ランニングか。それにしてもお前は、芝居の時は台詞が言えるのに普段は本当、しゃべらないよなー。まあ演劇部に来る連中には、お前みたいに舞台上がれば教室の時とは全然雰囲気違う奴が多いけどな。

ミチ すいません(声になつていない)

先生 ああ、気にするなつて。それより、どこにやつたかなー、えーと……おお、あつたあつた。これこれ

ユキノ あーつ、いた！

先生 ヤバツ！見つかつた。

ユキノ 職員室まで探しに行つたんですよ。

先生 ああ、それはご苦労。きつと、入れ違いになつた

んだな……ハハハ……

ユキノ はい(手を差し出す)

先生 何だ……(焦っている)

ユキノ はい(手を再度差し出す)

先生 はい(あめ玉を渡す)

ユキノ 何ですか、これ？

先生 いや、あのど飴。

ユキノ わーこれ欲しかつたんだ。練習前には、あめ玉が最高！つて違いますよ、台本でしょ、台本。こんな保険会社のおばちゃんからもらつたあめ玉なんてありませんよ。

先生 それが、そのまだ……

ユキノ えーっ？まだ出来てないんですか！信じられな

いんですけど。

先生 いやね、俺もいろいろ忙しくてさ……

ユキノ でも頼んだじゃないですか。試験休み明けには、下書きだけでもやっておくって。こんなあめ玉じゃあごまかされませんよ（といってポケットに入れる）

先生 でも、もらってるし……

ユキノ キー！

先生 こ、こわいなあ、ミチ何とか言ってやってくれよ。

ミチ ユキノちゃん、そんなに怒らないで（声になつてない）

ユキノ ミチ君関係ないし、それに先生が今日までって、言っただんですよ。

先生 俺が？今日までって？嘘だー？

ユキノ 言いました！（そばにある人形を投げつける）

先生 こらこら、ものに当たるなよ。わかってるよ。俺だつて遊んでたわけじゃないんだ。

ユキノ 大会近いんですよ。間に合わないじゃないですか！（近くにあるノートなどを投げる）

先生 興奮するなつて。

ユキノ どうするんですか？

先生 こらこら、危ないだろ。

逃げる先生、

追いかけるユキノ

先生 ユキノの手を押さえて、もみ合つて倒れる二人

ユキノ 痛い。

先生 あいたたた

ユキノ もう、先生何するんですか。

先生 それは、お前が……

サチ登場

サチ おはよう……つて（倒れている二人が抱き合っているように見えて）……ごめんなさい。

ユキノ ちがーう！

先生 お前は、何かを勘違いしている！

サチ で、でも。

ユキノ 待つて待つて、これはあのその（状況を説明する）
サチ そ、そうなの？そういうこと……それで何かあったの？

ユキノ ちよつと聞いてよ。先生ったらまだ書いてないんだつて台本。

サチ そうなんですか？

先生 いやーあのー、そのー……

ユキノ きつと、私たちが、試験勉強に明け暮れている時、
ずーっと遊んでたんだよー

先生 何言ってるんだ、俺だって試験作ったり、採点し
たり、いろいろとだなあ……

サチ そうよ、ユキノそんな言い方したら悪いわよ。

先生 やっぱり、サチはやさしいな。それに引きかえ
……

ユキノ 何ですか！

先生 おお、怖い。

サチ それで先生、本当に何も考えていないんですか？

先生 いや、一応頭の中では考えているんだけど、下書
きには至ってないというか……

ユキノ もうこうなったら、部室にあるまだやってない台
本か文化祭とかでやった台本を選ばなきゃ。

サチ でもユキノ、やってない台本とかは部員の数とか
いろいろ制約が……

ユメト、悪人っぽいマスクで登場。

キョウカ、アスカ、シンジ登場。

三人はヒーローマスクをつけてる

走って逃げる四人を追いかける部長が続けて登場

部長 こらー、ちゃんとランニングと発声しなさいよ。

ユメト ぬはははは。

シンジ うおー、待てクライム！

キョウカ キヤハハハ。

アスカ キヤハハハ。

サチ どうしたの？

部長 この子たち、ふざけてばかりで全然練習しない
のよ。

ユメト してましたよ。それで、前から、考えていた設
定で、エチュードしてたんですよ。

部長 エチュード？ただのごっこ遊びでしょ！

ユメト ああ、失礼な！こっちは大会用にとまってプロッ
ト考えたりしたんですから。

シンジ だから、部長。今年はヒーロー物やりましょうよ。

キョウカ そうですよ。

アスカ 楽しいですよ。トウツ！タア！

部長 だーめ。

ユメト どうしてですか？もう、一応設定も考えてあるん
です。

シンジ スマイルエンジャー対クライム

キョウカ 令和元年！

アスカ 頂上決戦！

ユキノ 何、クライムって？

アスカ 世界中の人々を泣き顔にする悪の秘密結社です。

ユキノ うわー、なんかおもしろそう。

ユメト 俺が考えたんです（得意顔）

部長 何？それ。

キョウカ それをくい止めるべく立ち上がるのが、

アスカ スマイルレンジャーなんです。

シンジ 君に涙は似合わない。百万ドルの笑顔がキラリ☆

みんなの笑顔を守る、ニコニコ戦隊スマイルレンジャー、ニッ！

ポーズを決めている三人

サチ ニコニコ戦隊ってのは、どうもねー

ユキノ ポーズもいまいちねー

ユメト もう少しこは工夫がいりますかね。

サチ そうね。

ユキノ じゃあさあ…

部長 こらー、だめ出ししてんじゃねー。

サチ はっ、つい演劇部の癖で…

ユキノ ところでその話さあ、下書きぐらい書き上がった

るの？

ユメト いえ。

シンジ 全然。

キョウカ この部分だけです。

アスカ ポーズ考えるのに一週間考えました。

サチ 一週間でこれ（ポーズをまねる）かあ…

部長 どうせ、そんなことだろうと思ったわよ。

シンジ あっ！でも決め台詞はすごいこと思いついたんですよ。

ユメト あっ、そうそうこれ大発見！

ユキノ なんだ、出来てないのか、残念。

部長 それに、ヒーロー物はちよつと前にやったし。ね

え、先生。

シンジ ちよつと、聞いてくださいよ。

ユメト 無視かよ。

先生 う、うんまあな。

キョウカ じゃあ、パート2つてことで。

アスカ じゃあ、パート2つてことで。

部長 だーめ、それに明日までに、先生とユキノが台本

決めるって言ってたしね。

先生 ぎくつ

ユキノ ぎくつ

ユメト えー

シンジ そうなんですか。

アスカ 何ーんだつまんない。

部長 ほら、だから台本のことは二人に任せて練習行く

わよ。

キョウカ はーい。

ユメト まあ、やっぱり先輩優先だよなあ。

シンジ どんな感じの台本なんですか？

先生 それが、あのなあ……

ユキノ ちよつと、聞いてよ、先生つたらねー……

部長 ほら、ほら早く行くわよ。

四人 はーい。

部長 ミチもサチも着替えて早くおいでよー……あ、あと多分大丈夫だと思いますけど、台本間に合わないことは、ないですよ。間に合わなかったら、私、何するか（そこにあつた雑誌を裂く）分かりませんので……その時は、二人の連帯責任ですからね。一応念のため……じゃあ、よろしく。

先生 わ、わかつてるよ、なあ……

ユキノ そ、そうよもうほとんど出来て、印刷でもしよう

かなーって……ハハハ。

部長 それじゃあ、がんばってね。

ユキノ う、うん。

部長、ユメト、シンジ、キョウカ、アスカ去る

ユキノ すつげー、怖いんですけど。これを素手で……

先生 やつぱり、あいつを部長にしたのは間違えだった

んじゃ……

ユキノ と、とにかく何か適当な台本見つけないと……明日どうなるかわかんないよー、サチもミチ君も一緒に探してよ。

ミチ (うなづく)

サチ う、うん。でも、先生がさつき一応考えてるって。

ユキノ どうせ、当てにはならないわよ。

先生 おいおい、俺は一応顧問だぞ。そんな言い方ないだろう。ただ、下書きできてないだけで……

ユキノ とにかく、生徒受けがよくて、いかにも高校生らしい芝居は……、ねえ、「七人の部長」って大会でやったっけ。

サチ 大会では、やってないと思うけど……

ユキノ じゃあ、「チエンジ・ザ・ワールド」は？

ユキノ、台本探しに夢中で先生の声が聞こえてない様子。

サチ ユキノ、一応、先生のアイディアも聞いてみたら。

先生 おい！ユキノ。ちよつと落ち着いて聞きなさい。

ユキノ 何ですか？私、忙しいんです。

先生 そんなに焦って、定番の芝居に決めてもいいのか？

ユキノ だって、先生が何も考えてこないから。

先生 考えてないとは一度も言っていないぞ。それになあ、焦ってもいい考えは浮かばないぞ。

ユキノ それもこれも先生が…

先生 あのなあ、夏の甲子園予選に三年生の補欠の選手が代打で出場したとするだろう。

ユキノ 何ですかそれ？甲子園？

先生 いいから聞け。その三年生の代打選手は、初球の絶対球はたいいて見逃すんだ。なぜだと思う？それは、誰でもその最後の打席を長く楽しみたいっていう「守りの姿勢」が出るからなんだ。

サチ なるほど。

ミチ (うなづく)

ユキノ それで？それと台本なんか関係あるんですか？
つまり、演劇でも審査員に受けがいいとか、高校生が演じやすいなんていう「守りの姿勢」が出て、

ついつい定番の芝居に走っちゃうんだなあ。

サチ そういえば、どの県でも必ず上演されている芝居ってありますよね。

先生 だろう？

ユキノ だから、何なんですか。定番じゃない芝居でもいいですけど、何かやろうと考えてる台本があるんですか？

先生 今年、攻めの姿勢で古典演劇の名作にチャレンジしてみようと思う。

ユキノ 名作？古典？

サチ 名作ってたとえば、シェイクスピアとか？

先生 そう、シェイクスピア。

ユキノ えーっ

サチ シェイクスピアですか？

先生 ただし、日本のシェイクスピアと呼ばれた「近松」をやろうと思う。

ユキノ 「近松」ってあの「近松門左衛門」ですか？人形浄瑠璃の。

サチ 先生、そんな構想があったんですね…日本のシェイクスピアか…

ミチ (拍手をしている)

先生 ほら、こうして原本も図書館で借りて来てるんだ

なあ。

サチ へえ……(本を受け取る)

ユキノ ふん。どうせ、授業か何かで、使おうと思ったん

じやないんですか？ 思いつきじやないですか。

先生 いや、あの、その……

サチ (本に挟んであるレシートを眺めて) 先生、この

本図書館の返却期限とつくに過ぎてますよ。

先生 えーっ？ 嘘。

サチ ずーっと、部室にありましたよね。たしか……借

りパクじやないですか。借りたものはちゃんと期限

内に返して下さい。

ミチ (強くうなづく)

先生 あれー、うっかりしてた。

ユキノ 先生が借りパクしてもいいんですか？

先生 すいません。

ユキノ まあでもアイデアはいいかも。

先生 だ、だろう。

ユキノ 「近松」って言ったなら時代劇よね。なんだかおも

しろいかも。

サチ でも時代考証とか言葉遣いとかどうするんです

か？ たしかあれ、大阪の話ですよ。

ユキノ ああそうか。

サチ それに、衣装とかどうするんですか？ 演劇部の安

い部費じゃあ、江戸時代の衣装なんてそろえられま
せんよ。

先生 いや、だから難しいこと考えないで、俺たちの俺

たちにしか出来ない「近松」をやればいいんだよ！

サチ おお、熱いですね。

ミチ パチパチ(拍手)

ユキノ 思いつきのくせに(ボンッ)

先生 ゴホン。

ユキノ で、どの作品やるんですか？

先生 ふふーん。ザ・「曾根崎心中」

音楽、暗転

劇中劇「曾根崎心中」

※ 瓦版屋のイメージは、ラップやお祭りの雰囲気できぎや
かに

瓦版屋 時は、元禄十六年。ここ大阪堂島新地では、好い

た惚れたの行く先で、永遠の愛を信じ合う、若い男

女の心中が、やたらめったら流行出す。これは、そ

んなお初と徳兵衛語り尽くせぬ物語。おっと、出て

くる輩が大阪弁でないのとか何かといろいろおか

しいところがあつたとしても、そこは男は度胸、女は愛嬌っていうことで、ゆるしておくんなまし。さあ号外号外。またまた大阪太融寺付近で男女の骸が上がつたよ。これまた流行の心中か？家族の心中お察しするぜ。号外号外。

（瓦版を拾つて）まったく、変なことが流行りだしたね。娑婆で結ばれない二人が、安楽世界で結ばれることがあるのかねー。はあ、こわいこわい。

帳場上がるお米

お米 徳兵衛、徳兵衛。

徳兵衛 はい、ここに。

お米 京へのお使いご苦労様。取り立てた銀はきつちり勘定があつてたよ。本当にお前は、奉公にこれっぽちも油断せず、商いものも一文半銭ごまかしたことのない正直者だね。

徳兵衛 いえ、おば様にいつも親切にしてもらっている奉公人として当然のことです。

お米 その控えめなところも本当に誠実そのもの。
徳兵衛 で、何かご用でしょうか？

お米 あ、そうそう。お春、お春や。

お春 はい、ただ今。

徳兵衛 これは、お春様。お久しゅうございます。いつ、大阪にいらつしやつたんですか？

お春 昨日の夜にね。ところでおば様、話の方は……

お米 まあ、ちよつと、お待ちよ。物にはね、順序つて言うものがさ……

徳兵衛 あのー、話つて。

お米 お前も知つての通り、お春は私の姪で、見てごらんよ。器量のいい生娘だ。だから、縁談話もたくさんあるんだよ。でもね、これから私たちの店を任せらるなら、ほれ、ちよつとお前はうちの主人の甥っ子にあたる。そこでお前とお春が二人一緒になつてくれて店を継いでくれたら安心つてもんだろ。なあ、徳兵衛。お前、お春と夫婦になつてくれるかい？

徳兵衛 え？

お春 それがねえ、お春もまんざらじゃないつて言うんだよ。オホホホ

お春 ト・ク・さ・まゝ

徳兵衛 い、いやゝあのゝ

お米 それじゃあ、邪魔者は消えるとしますよ。あとは、二人でねー。よ、ご兩人。ヒューヒュー熱いぜ！

若い

徳兵衛 あのちよつと、お婆様。困ります。

お米去る

お春 徳様、いや、徳！（お婆様が居なくなつてしおらしい娘の感じから雰囲気を変える）ちよつと、こつちに來なよ。

徳兵衛 いや、あの〜

お春 いいから、こつちに來て、肩でももんで！

徳兵衛 は、はい。ただ今。

お春 （肩をもまれながら）ああ、そこそこ気持ちいい。

徳兵衛 あの、夫婦になるつてどういふことですか？

お春 あら、本当に何も聞いてないのね。お婆様とこの主人が私とお前さんを一緒にさせたいつて言つて、もうお前さんの国元の継母（ままはは）に銀二貫も結納金として送つたんだよ。だから、後は祝言の日取りを決めるだけ……

徳兵衛 ちよつと、待つて下さい。私が承知してないのに、なぜ母にお金を……あんまりじゃないですか。

お春 だつて、お前さんの継母つたら、お金をもらつたらそれはそれはよろこんで、徳兵衛をよろしく頼むといつてたそうよ。そんなことより、ほら夫婦にな

つたんだからさ（徳兵衛の手を取る）

徳兵衛 ちよつと、やめて下さい。

お春 何よ、恥ずかしがらなくてもいいじゃない。

徳兵衛 そういふことではないんです。

お春 何だ、あんたも好きねー（肩を出して）さあ、好きにしてもいいのよ。

徳兵衛 いや、だから……

お春 さあ、早く〜

徳兵衛 お春様もあんまりです。今まで様子様につけ敬つたあなたを銀を頂戴した上で、一生機嫌取りをして

夫婦になるなど、この徳兵衛の面目が立ちませぬ。面目が立たないつていわれてもね〜、決まつちや

お春 たもんはしようがないでしょう。……それとも何？

女の私に恥をかかせる気！

嫌という以上は、たとえ死んだ親父が生き返ること

とがあつても嫌です。

お春 何よそれ。この私との縁談を本気で断る気？

徳兵衛 はい。

お春 わ、私、こんな、屈辱生まれて初めてよ。（嘘泣

きしながら）えーん。お婆様〜。

お米登場

お米 なんだいなんだい。

お春 えーん。徳のアホが。

お米 一体、どうしたんだい。泣いていたら分からないじゃないか。

お春 こいつが、私と結婚できないって私のことを傷物

に（舌を出しながら）

徳兵衛 傷物って。

お米 なんだい、徳。これまで目をかけてやったのに、

あんた、恩を仇で返そうってのかい！

徳兵衛 私は、好きでもないお春様と夫婦になることは、

出来ません。

お米 どうして、結婚できないんだい！

徳兵衛 私には、心に決めた人がいます。

お春 え？ま、マジで？ってことは、私が…この私が

ほ、本当に…フラれたの…。ガン…私がフラれた…わーん、くやしいよー（本気で泣いている）

お米 どうやら、あんたが蜷川の天満屋の「はつ」に入
れ込んでるっていう噂は本当のようだね。その女と
付き合ってるから、姪のお春とは一緒になれないっ
ていうんだね。

徳兵衛

はい。

お春 マジ、ぶつ殺す！

お米 おお、よしよし。可愛そうに…もう、わかった。

もうお春はお前にはやらん。店もやめてもらう。継
母に渡した銀二貫も七日までに弁償してもらおうか
らね。そしてもう二度と私たちの前に現れないでお
くれ！

徳兵衛 わかりました。私にも意地があります。何として

も銀二貫を取り戻しお返しします。そしてここを辞
めて、二度とお二人の前には現れません。今までお
世話になりました。

お米 ふん。

お春 何だよ、マジかよ。マジラブかよ。くそが！

おお、もう泣くんじやないよ。お前にはもつとい
い男をさがしてやるからね。

（ケロッとして）本当？やったー。だったら、私
道頓堀の定吉がいいわー。この前、インスタで知り
合って…

お米 あんた、あんなもんをやってるのかい？

お春 これが、もうチョーイケメンでさあ。

お米 はいはい。

お米、
お春去る

お初 登場

お初 徳様。

徳兵衛 お初。……：：：：そういうわけなんだ。

お初 そうでしたか。それで随分と音沙汰もなかったんですね。私本当に寂しかった。

徳兵衛 本当にすまなかつた。たとえこの身が碎かれようとも、お前と離れてしまつたらどうしようと考えれば考えるほど胸が苦しく、灼かれる思いだ。

お初 そんなことはありません。それもこれもみな私のため、の苦労だと思つて嬉しくも悲しくもあり、かたじけなく思います。けれど、心を強くお持ち下さい。たとえ大阪を追放されても破廉恥な罪を犯したわけじゃない。

徳兵衛 それは、御天道様に誓つて不実はない。

お初 ねえ、破廉恥なことは……

徳兵衛 疑つてるのかい？

お初 (可愛く) だつてさ、お春さんつて美人でしょ。

言い寄られたんじゃないの？

徳兵衛 言い寄られはしたが、断じて何にもしてない。

お初 本当に、何にも？

徳兵衛 ああ、ちよつと揉んであげたけど。

お初 (豹変して) ああ、何揉んでんだよ、この野郎！

徳兵衛 ちよつと、誤解だよ。肩を揉んだだけだよ。

お初 ああ、肩？

徳兵衛 もう、落ち着いてよ。

お初 コホン、たとえ大阪を追放されても盗みやかたりの破廉恥な罪を犯したわけじゃない。どんなことをしても私がかくまつて差し上げます。

徳兵衛 お初、ありがとう。うう……

お初 私にだつて覚悟があります。逢うに逢われぬその時は、この世ばかりの約束か、あの世で結ばれた例(ためし)のないではなし。とどのつまりは死ぬだけのこと。死出の山や三途の川は男女の仲をさく人もさかれる人もありますまい。さあ、元気を出して下さい。

徳兵衛 ああ、……うん、うん(涙)

お初 それで継母様は、銀を渡してくれたのですか？

徳兵衛 ああ、村中の人も一緒に頼んでくれて、何とか返してくれただ。

お初 ならば、七日といえは明日のこと。どうせ渡す銀

なら、早くお米さんに渡して下さい。

徳兵衛 ああ、それが、お前も知っている油屋の九平次君

が……

九平次にサス

九平次 いやー、徳兵衛。俺だよ、俺、俺！九平次だよ。

ちよと困っちゃってなあ、どうしても金があるんだ。そこで、俺とお前の仲だろう。何とか金を工面してくれないか？三日の朝には必ず返すからさ、なあ頼むよ。金がないと本当困るんだ。破滅だよ。ほら、この通り証文に判も押すからさ。なあいいだろう。近頃はサラ金の審査も厳しくてさ、ご利用は計画的に……いいながらご利用させてくれないし、そこに、愛はあるんか？って言うって全然愛を分けてくれないんだよな…… (F.O)

九平次サス消える

徳兵衛 そう言われて七日の朝までは要らぬ銀。兄弟同然

の友達のためだと思つて貸したんだが、三日四日と連絡がなく昨日は留守で会えずに、とうとう時が過ぎてしまった。でも、九平次君は俺の苦勞も知つてゐる。男と男の約束を破るようなことはしないはずだ。

お初 しかし、九平次さんは何かとよからぬ噂のある人

です。借りパクしないか心配です。

徳兵衛 借りパクして……心配は要らないだろう。とにかく、今から会つて金を返してもらふことにしよう。

九平次に気づく徳兵衛

徳兵衛 おいあれ、お初。あれは、九平次君だ。

お初 はい。

九平次登場

女郎衆を両脇に、役人と歩いてくる

九平次 初瀬も遠し難波寺、名所(など)多き鐘の聲。

徳兵衛 あ、九平次！

九平次 あん？

徳兵衛 酒を飲んでるのか？

九平次 おお、これは徳兵衛どうした？

徳兵衛 どうした？のんきなもんだな。貸した銀の返却期

限は過ぎてるつてのに女郎衆つれて昼間から飲んだくれか？まあ、いい。今日こそ返してもらおうぞ(九平次の腕をとる)

九平次 なんのことだ、徳兵衛。この方は町役人で上塩町

の伊勢講帰りで酒も少し飲んでゐる。利き腕を取つて何をするか。粗相はするなよ。

徳兵衛 粗相はせぬ。先月の二十八日。銀二貫目、一時貸しして、この三日を期限で貸した銀を返せと言つてゐるんだ。

九平次 ハッハッハ。気でも違つたか徳兵衛。お前とのつ

きあいは随分と長いが、金など一銭も借りた覚えもない。女郎衆や役人様の前で無礼はゆるさんぞ。

徳兵衛 言うな言うな九平次。今回難儀がありどうしても必要な金だったが、お前が金がなければ破滅すると嘆いて、頼んだから男気をたてて貸したんだ。お前の判の入つた証文だつてここにある。嘘を言うな。

九平次 証文？どれ、見てみたい。

徳兵衛 ああ、見せないでおこうか。

徳兵衛、懷中から証文を取り出し

徳兵衛 さあ、お役人。この通り判のある証文だ。この判見覚えがあるだろう。

九平次 なるほど、判は俺の判だな。

徳兵衛 そうだろう、これでも争うか！

九平次 おい、徳兵衛。土をかじつて飢え死にすることが

あつても、こんなことはせぬものだ。

徳兵衛 何のことだ？

九平次 俺は、先月の二十五日、印判を落としてしまつて方々に張り紙をし尋ねたが、わからねえ。だから、今月からこの通り、このお役人に届け、印判を変えたんだ。

徳兵衛 何だと！

九平次 二十五日に落とした判を二十八日に押されようか？さては、お前が拾つて証文を書いて判を押し、それで俺をゆすつて銀をとろうとは偽判より大罪人だ！おい、こんなことするより盗みでもしろ、徳兵衛。ハハハハ

徳兵衛 うう…

九平次 詐欺罪や名誉毀損で訴えて、首でも切らせる奴だが、親しいよしみだ許してやろう。こんな紙切れが銀になるならならしてみよ。

九平次、証文を白々しく徳兵衛の顔へ打ちつけ、去ろうとする

徳兵衛 謀つたな、九平次。初めから、俺をだますつもり

だつたんだな。くそ！

九平次 ハハハハ、何のことかなあ

女中1 借りてない。

女中2 借りてない。

徳兵衛 どうせ、公の場に出たとしても俺の言い分は通らぬ寸法か。こうなったら力づくでも返してもらおうぞ。待て、九平次。

九平次

徳兵衛、九平次を突き飛ばす

倒れる、九平次

九平次 な、なにをする。許しだけじゃ飽き足らず、今度は暴力に訴えるつてのか！ええ、徳兵衛。

は暴力に訴えるつてのか！ええ、徳兵衛。

徳兵衛 お前が、言うな！（九平次につかみかかる）

九平次 生意気な、このく丁稚上がりめ！（徳兵衛を投げ飛ばす）さあ、お役人。懲らしめてやって下さい。

飛ばす）さあ、お役人。懲らしめてやって下さい。

女中1 やっちゃえ。

女中2 やっちゃえ。

女中達 ウザイ！キモイ！（連呼する）

役人、徳兵衛を棒で打ち付ける

駆け寄るお初（買い物帰りで紙袋を持っている）

お初 徳様〜！やめて下さい。これは、何かの間違いです。やめて下さい。お願いします。

九平次 だけ、お初。

女郎衆 さあさあ、怪我でもしたら大変よ。離れて離れて。

お初 いや、離して。離してよ。徳様〜。

徳兵衛 お初！

九平次 この、悪党め！（徳兵衛を蹴飛ばす）

徳兵衛 うわつ。

女郎衆がお初を引き離す

お役人、九平次が徳兵衛を踏みつける

ぐったりする徳兵衛

役人、九平次去る

徳兵衛にサス

通行人や見物人が取り囲んでいる様子

徳兵衛 はあ、はあ、ゲホッゴホッ。（泣きながら）すいませんすいません。どなたの手前も面目ない。恥ずかしい限りです。日頃から友達だとおもっていたのに。一生の恩と言うから。ただ、金を貸したただけなのに：くやしいのー、くやしいのー。いっそ、殺してやればよかった：ああ、俺は、何にもしてな

はあ、はあ、ゲホッゴホッ。（泣きながら）すいませんすいません。どなたの手前も面目ない。恥ずかしい限りです。日頃から友達だとおもっていたのに。一生の恩と言うから。ただ、金を貸したただけなのに：くやしいのー、くやしいのー。いっそ、殺してやればよかった：ああ、俺は、何にもしてな

いのに：お初どうしたら、俺はどうしたら：う
う、ご迷惑をおかけしました、すいません、すいま
せん。

徳兵衛、そばにあったグチャグチャになった紙袋を頭から
かぶる

暗転

お囃子

女中1 ねえねえ知ってる？

女中2 なーに？

女中1 どうやら、徳兵衛様がなにやら不都合があつて随
分殴られたらしいわ。

女中2 いや、踏まれて死んだらしいわ。

女中1 (らしい) 死んだの？でも、詐欺を働いて捕まっ
たみたいよ。

女中2 (みたい) 証文を偽造したとか、人に斬りかかっ
たとかしたみたいよ。

女中1 (みたい) 黒い噂が絶えなくて、twitter が炎上し
たみたい。

女中2 (みたい) 女を二股にかけて弄んでたらしい。

女中1 そうらしいみたい。

女中2 そうらしいみたい。

お初 もう、言わないで。聞けば聞くほど胸が痛み、私
から先に死にそうです。うう：：(涙)

泣き崩れるお初

傷だらけの(紙袋をかぶった)徳兵衛あらわれる

お初 どうしたの、その顔：：

徳兵衛 : : : (頭を振って、声を出さない)

お初 悔しかったでしょうね。噂は聞きました。あんな
企みをだから、徳様の立場は悪くなるばかり。周り
の見方がきつと変わってきます。とにかくここで
は、人目につきます。ささ、この中に：：

徳兵衛、お初の袴襠(うちかけ)のすそに隠れて這うように
縁の下に隠れる

女中達、気付かずに噂話をしている
そこに、九平次登場

九平次 やあやあ女郎衆、淋しそうですなー大阪一のクラ

ブの名が泣きますぞ。

女中1 いらっしやーい。

女中2 もう、九平次さんたら、冗談ばかり。

女中1 さあ、さあまあ一杯。

九平次 いや、酒はもう飲んできた。それより、お前たちに話すことがある。

女中2 なになに？

九平次 この、お初の一審客。平野屋の徳兵衛が、俺の落とした印判を拾って、偽の証文を作って、俺から銀二貫もだまし取ろうとしやがったんだ。

女中1 え、あの徳兵衛様が偽の証文を？

女中2 まあ、銀二貫。

九平次 まあ、しかしそんなことで俺はだまされはせん。

理詰めで徳兵衛を責めたら、あのやろうとうとう俺に殴りかかって来た。

女中1 暴力をふるったんですか？

九平次 暴力に訴えるということは、自分の騙(かた)りが暴かれた証拠。こつちもお役人共々、逆にとつちめてやった。嘘がばれて面目がつぶれた徳兵衛は、まあ、それはそれは惨めなもんさ。

女中2 でも、それじゃあ、この大阪にはおられませんね。

九平次 いやいや、そこは俺に逆ねじを言ってきた卑怯者。いろんな所にやってきて正反対のいいわけを言

つて回るに違いない。今後ここに来ても油断するなよ。店に近寄らせることするなよ。

女中1 はいはい、わかりました、ねえ。

女中2 ええ、気をつけます。

九平次 どうせ野江か飛田で処刑される奴よ。のお、お初。

お初 ……

九平次 商人の風上にも置けん、とんだ大馬鹿者よ。ハハハハ。

縁の下では徳兵衛が歯を食いしばり腹を立てているのをお初は足の先で押し鎮める

九平次 卑怯者、やしくりとペテン師、盗人徳兵衛よ！ハハハハ。

女中1 お酒を飲まれないならほら、たばこ盆でも持つて

きましよう。ほれ。

女中2 はい、ただ今。

お初 九平次様。

九平次 ……なんじやい、お初。

お初 九平次様と徳兵衛様は昔からの友達、そんな風に言っつていいんですか？

九平次 あんな奴、友達でも何でもない。俺はなあ、友達

をだますような奴とは付き合わんぞ。

お初

そんな、偉そうに言うもんじゃないですよ。徳様とは、それは幾年も馴染んで、心と心を互いに明かしあつた仲だけど、それは本当にまじめでいいお方。今度のことも誰かのために友達だと思つて約束をしたが、かえつて騙されただけのことじゃないですか。徳様はなんにも悪くはないです。

九平次

何だと、それなら俺が徳兵衛を騙したとでも言うのか？お初何を言つても証拠がない。証拠がないので道理も立たず。

九平次

当たり前だ！あんな奴がどこでまことしやかに言い訳しようと誰が信じる。ハハハ……この大阪で徳兵衛のことを誰が信じるつて言うんだ。

お初

こうなつてしまつたら徳様も死なねばなりません。死なねばならぬが、その覚悟があるか、それを聞きたい……(涙)

お初、泣きながら独り言のように徳兵衛に覚悟を聞く

徳兵衛はお初の足首を取つて、のど笛を撫で切るそぶりをし、自害すると知らせる

お初

そうですね、そうですね。このまま生きてい

ても同じこと、死んで恥をすぐしかない。徳様の

男気と正直さを世に知らしめる意地を通すしかない……(涙)

九平次

(九平次ぎよつとして) 気でもふれたかお初。人に騙りをするような奴が、なんの死ぬものか。そんな度胸があるか。まあ、でももしそんなことになつたら、お初お前は俺がかわいがつてやろう。

お初

なんと、おまえ様がこの初をかわいがる？ありがたいこと。うれしゅうてたまりません。だけど、その時は私が、おまえ様を殺します。

九平次

何じゃと？どうして俺を殺す？

お初

おまえ様は、愛する徳様との約束を破り、徳様に死に追いやつた憎い奴じゃ。(感情が高ぶつて) おのれこそ、人を騙す卑怯者じゃないか？！このろくでなし野郎！徳様の敵は私がとつてやる！

九平次

この一、黙つて聞いてりや、女郎の分際で！もう勘弁ならん！俺が、おまえを殺してやる！

お初

おお、殺せ、殺してみよ。このまま徳様と離れて生きて何の未練があるう事か。徳様以外の男に弄ばれるなら死んだ方がまし。一緒に死ぬ。徳様と私も一緒に死ぬ！

縁の下では徳兵衛が涙を流し、膝に抱きついて焦がれ泣く

お初 さあ、殺せ！殺してみー！

九平次 よおし、わかった。望み通り殺してやるわ！

お初 いいか、九平次。このお初ただでは死なんぞ。死んだなら、きつとおまえを呪い殺してやるからな。その覚悟があるなら殺してみー！

九平次 おうやらいでか！

女中1 まあまあ、お初ちゃん。そんなこと言わないで。

女中2 九平次様もお気を沈めて下さい。

九平次をなだめる女中たち

九平次 けつ！胸くそ悪い。どうもこの店は、大金持ち
は嫌いらしい。別の店で一杯やるわ。ほれ、くれてやる。

金をまき散らす九平次
群がる女郎衆

九平次 こんな店、二度と来るか！ああ、懐が銀で重くて
歩きづらいのお。

よろめきながら九平次去る

女郎衆去る

お初 さあ、徳様：：まいましたよう

徳兵衛 お初：：ありがとう、ありがとう。（声になって

いない）

徳兵衛、縁の下から這い出る

お初とともに去る。

暗転

#道行き

クロス この世のなごり、夜もなごり、
死にゆく身をたとふれば、
あだしが原の道の霜、
一足ずつに消えてゆく。
夢の夢こそあはれなれ

クロス、人魂となり二人を囲む
追いつめられるお初と徳兵衛

お初 あれは、まさに人魂。今夜死ぬのは私たちだけと

思ったのに、先立つ人もいるんですね。

徳兵衛 南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏（声になっていない）

お初 また、光った。また魂がこの世を去ったわ。悲し

いわ。徳様。わたし、怖い。

徳兵衛、無言でお初の手を握り、死に場所を求めさまよう

死に場所を決め、上着の帯をとく

徳兵衛、お初も黒小袖を脱ぐ

徳兵衛、持っていたカミソリを出す

お初 やつと、望み通り一緒に死ぬことが出来るのです

ね。

徳兵衛 （うなづく）

クロス 死ぬか生きるか、生きるか死ぬか？何が正義で何

が悪。死ぬが正義で生きるが悪で、所詮この世はは

かないもの。力が強い悪人が声高に叫ぶが正義な

ら、弱者のみちゆき知れたもの：これが、近松『曾

根崎心中』！

お初 さあ、ひと思いに！

クロス さあさあさあさあ！

クロス さあさあさあさあ！

カミソリを振り上げる徳兵衛

シンジ その心中待ったー！（ヒーロー登場の音楽）

お初 えっ、えーっ？

シンジ 死んで咲かせる花よりも、泥にまみれて這いつく

ばって、それでも生きて生き抜いて、おまえ百まで

わしゃ九十九まで。共に咲かす笑顔の大輪、きっと

必ず美しい。

クロス役のキョウカ、アスカも加わる

シンジ 道行きの夢と幸、今日か明日か信じてるよ！

キョウカ 君に涙は似合わない！

アスカ 百万ドルの笑顔がキラリ☆

三人 みんなの笑顔を守る、ニコニコ戦隊スマイレンジ

ヤー！ニッ！

ユキノ えーっ！

先生たち登場

先生 カート！ちよっと、何やってくれてんだよ。お

前たち！

部長 何よ、あんたたち！

ユメト まさかここでやるか？

先生 今から、まさにクライマックスだろ！

部長 台本にないことやらないでよ！

シンジ だってー、どうしてもヒーローやりたかったんですよ。

キョウカ 私たち出番少ないし、ねえ。

アスカ そうそう。

シンジ それに、決め台詞思いついちゃったから、言いたくて、言いたくて。

部長 決め台詞？

先生 決め台詞？

シンジ 僕たち部員の名前をつなげたら、それっぽい感じになったものだからね。

ユメト 最初に思いついたのは、俺ですよ、俺。

シンジとユメトとキョウカとアスカが部員の名前を呼ぶ
呼ばれた部員は反応する

シンジ ミチ！

ユメト ユキノ！

キョウカ ユメト！

アスカ サチ！

シンジ キョウカ！

ユメト アスカ！

キョウカ シンジ！

アスカ テルヨ！

サチ あーっすごい。台詞っぽいね。

ユメト でしょう。

シンジ それに、徳兵衛とお初の「道行き」にかけて

サチ すごい、すごい。

部長 それだからって…

先生 まったく。

シンジ ニッ！

先生 ニッ！じゃないよ。ニッ！じゃあ。

サチ いや、私は、面白かったけどなあ。ヒーローの出

てくる『曾根崎心中』

部長 いいわけではないですよ。

先生 いくら面白いからって…

キョウカ まあまあ、いいじゃないですか。

アスカ そうそう、自分たちなりの『曾根崎心中』をやる

うって言ったのは先生ですよ。

先生 だからって、なんで『曾根崎心中』にヒーローが

出てくるんだよ。

部長　むちゃくちゃじゃない、本当にもう。

シンジ　いやー、別に死ぬことないんじゃないかなって。

ユキノ　？

キョウカ　悪いのはあの九平次って奴なんだから。

サチ　なるほど。

ユメト　たしかに。

アスカ　そうそう。誰かが二人を救ってあげなきゃね。

先生　あのなあ、あの二人は心中することで、永遠の愛

と自らの潔白をだなあ…

キョウカ　でも、死ななくてもねえ。

アスカ　私もそう思います。

部長　そこに美学があるんだろ。男と女の美しい愛のか

たちが。ねえ、先生。

先生、部長と手をとり合っとうなずく

アスカ　今時流行らないわよねー。

キョウカ　うん、イケてないわね、心中なんて。

サチ　失樂園世代にはウケるかも。

ユメト　まあねえ…

部長　ああ…（ため息）

先生　ああ…（ため息）

シンジ　いつそのこと、九平次が実は悪の秘密結社、クラ

イムのボスってことにしてさあ

アスカ　いいですねー。

シンジ　覚悟しろ、九平次お前の悪事はお見通しだ！

ユメト　よーし、こいスマイレンジャー！

サチ　ハハハハ。

アスカ　スマイルボンバー！

キョウカ　膨らんじゃいますね。

サチ　案外いけそうね。印籠とかも使ってみる？

アスカ　それ、いいですねー。

先生　こらー、何盛り上がってるんだよ。そんな作品世

界を壊すような事出来るわけないだろう。だいたい

近松先生作品にはなあ…

キョウカ　ああ、そういえば部長、今かけた音響よりいいな

あつて思ってるのがあるんですけど聞いて下さい。

先生　こら、お前たち聞いているのか？

アスカ　ああ、私も候補があるんですよ。聞いて下さい。

先生　おい、こら。

キョウカ、アスカ、部長の手を抱えて連れて行く

部長 ちよつと、こら、離せー。

先生 まったく、あいつら近松を一体なんだと思ってるんだ。

シンジ 先生、やっぱりポーズ変えた方がいいですかね。

先生 知るか！ちよつと、来い！

シンジ いてて、あ、あの耳がとれるー

先生 サチ、ユメト！お前たちもちよと来い。台本の打ち合わせもう一回するぞ。

サチ は、はーい。

ユメト ああ、もうめんどくせえなあ

先生 なんだって！

ユメト はいはい、今行きます。

先生、シンジの耳を引つ張つて連れて行く

去つて行くみんなをあつけにとられて見送りながら

顔を見合わず、ミチとユキノ

ユキノ ふふふふ。

ミチ (笑つてる様子だが声はない)

ユキノ スマイルレンジャーだつて…おかしいね。

ミチ (うなづく)

ユキノ ……そうよねー、確かに死ぬことないわよね。

ミチ ……

ユキノ シンジたちの言う通りね。どんなにつらくても生きていけばきつとどうにかなる。そうやって信じてないとやつてられないわよね。

ミチ (うなづく)

ユキノ 死んだってね…

ミチ ユキノちゃん？(声になってない)

ユキノ、股の間から空を眺める

ミチ ???

ユキノ 私ね、昔っていうか演劇部に入ったばかりの頃、

すつごく好きな人がいたんだ。…でね、勇気を持って告白したんだけど…フラれちゃったんだ。もう、すつごく落ち込んで世の中が全部、灰色に見えるのよね。随分泣いたわ。もう死にたいなって毎日思つてて、…でも死ねないのよねこれが、や

つぱり…そうして落ち込んで何となく日々を過ごしてて、いつつもうつむいてたのよ。

…

…

ミチ ……

ユキノ そうしたらさあ、ほら、あの学校の裏山の高台で

合宿の時、声出しするでしょ？あの時に、先生が股

の間からこの景色を見ると空が広くて綺麗だぞー
って言つてさ、みんなで真似たことがあつてね。覚え
てる？

ミチ (首を振る)

ユキノ ミチ君いなかったかな？で、やってみたら、すご
いの。空の広さが逆さまになってずっと続けている
の。広い空を見るとね、何だか私ちっちゃいなあ
ーって思つてさ。そうしたら、何だか涙がスーッと
出てきて逆さになってるから額の方に流れていく
のよ。

ミチ ……

ユキノ その時、先生が後ろから来てさ、「ユキノ、そう
やってたら涙も汗になるなあ、いつまでも暗い顔し
てるんじゃないぞ」って…何？格好つけちゃつて
くだらないこと言つてって思つたけど…、本当あ
の先生、ギャグはつまらないけど時々いいこと言う
のよね。そう言われたらさ、私何となく笑顔になっ
ちやつた。

ミチ (うなづく)

ユキノ あ、そうだ。ねえ、ミチ君もやってみなよ。ここ
からだあの窓からしか空が見えないけど、ほら。

ユキノ、ミチが股から空をのぞくように促す

ミチ股の下から空を眺める

頭を坂間にするから、被っていた紙袋が落ちる

音楽

ミチ あっ……

ユキノ ね、広くて綺麗に見えるでしょ。

ミチ う、うん。

ユキノ そうやって、広い空見てたら、いろんな嫌なこと

とかも何だかみんな、ちっぽけに見えてさ、どうで
もよくなつてこない？

ミチ うんそう思う。

ユキノ ミチ君もさ、芝居やつてる時みたいに、もつと普
段もみんなとおしゃべりすればいいのに。私ね、ミ
チ君の声好きだな。

ミチ えっ？

ユキノ ねえ、どうなるのかなあ、台本。

ミチ あ、あのー、僕もハッピーエンドの『曾根崎心中』
見てみたい気がします。

ユキノ そう、たしかにおもしろそうよね……ってあ
れ？今、ミチ君普通にしゃべってたよね？

ミチ い、いやあの…

ミチ、顔を赤らめてあわてて袋をかぶる

ユキノ　　なんだ、しゃべれるじゃない。

ミチ　　しゃべってません（声になってない）

ユキノ　　いや、しゃべったでしょ！

ミチ　　しゃべってません（声になってない）

ユキノ　　みんなー、ちよつとニュースよニュース！

部長や先生たち舞台上に登場

みんな　　なになに？

みんな　　どうした？

ユキノ　　あのね、ミチ君が台詞以外の普通のおしゃべりし

　　たんだよ。私聞いちやった。

みんな　　うそー、マジ？

先生　　なんだ、お前しゃべれるのか？

ミチ　　しゃべってません（声になってない）

ユキノ　　しゃべってたじゃーん。

ミチ、おもむろに紙袋を頭から取って

ミチ　　だから、しゃべってません！

みんな　　？

ユキノ　　ほ、ほらー。

みんな　　うわー、ハハハハ

ミチの紙袋を拾って、みんなで投げ合う

それを追いかけるミチ

たくさんの笑顔

ミチ　　ユキノ

ユメト　　サチ

キョウカ　　アスカ

シンジ　　テルヨ

そして、先生の笑い声が稽古場にこだまする。

幕

参考文献

新潮日本古典集

近松門左衛門「曾根崎心中」